



「法曹」(1566年、ストックホルム国立美術館/P137)の裏には「ジュゼッペ・アルチンボルド・F。1566」と記されている。学者たちはミラノの個人コレクションにある別のバージョン(P51)が本当にアルチンボルドの手によるものか、疑問を呈している。「法曹」は上半身が4分の3ほど描かれた半身像で、茶色のウール地にキツネの毛皮があしらわれた上着を優雅にまとっている。法曹は本を2冊抱えている。芸術評論家ロマッツォによると、これはマクシミリアン2世の宮廷に仕えていた高名な法曹、顧問、副大法官のヨハン・ウルリヒ・ツァジウスを描いたものである。



「秋」(細部2)

1573年

カンバスに油彩、77 x 63 cm

パリ ルーブル美術館